

再評価調査書

事業名	金岡地区地域総合オアシス整備事業（ため池等整備）			事業主体	大阪府
所在地	堺市金岡				
再評価理由	事業採択後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	本地区は、堺市のほぼ中央部にあり、住宅地と農地が隣接する地域にある5箇所の老朽化したため池の改修と併せて、府民が水辺に親しめるよう、親水、修景護岸や遊歩道の整備とともに、浚渫土を埋立て、造成した広場の防災拠点としての活用や、ため池から流れる農業用水路を防火用水として利用できる整備を行うことにより、地域の安全なまちづくりと、「うるおい」と「やすらぎ」を与える水辺環境を創造することを目的とする。			
	内容	ため池改修5箇所（長池、菅池、森池、堂ヶ池、寺池） 遊歩道整備1式、親水・景観のための施設整備1式、多目的広場1式、 防火用水の整備1式			
	上位計画	オアシス構想			
	関連事業	都市計画道路南花田鳳西町線			
事業の進捗状況等	経過	事業採択：平成8年度	事業着手：平成8年度	事業完了予定：平成15年度	
	進捗状況	全体事業費 1,053,400千円	投資事業費 368,072千円（進捗率 34.9%）		
		工事中2箇所（森池、菅池）			
	未着手3箇所（長池、堂ヶ池、寺池）				
整備効果 発現状況	森池は、景観のための施設整備の一部を除いて、老朽化した堤体の改修は完了しており、決壊による被害の防止効果と、一部、造成地に市民農園を開設し、地域住民の利用するなどの交流、健康・レクリエーション機能を発揮している。				
課題	5箇所のため池を総合的に整備しているため事業期間が長期化している。				

事業を巡る社会情勢の状況	事業目的	<p>①ため池堤体の現況 (1)堤体の浸食率 5.0 ~ 14.9% > 5% (要改修基準) (2)堤体100mあたり漏水量 1.04 ~ 1.53 l/sec. > 1 l/sec. (要改修基準) ②ため池堤体決壊時の影響 (想定氾濫区域内) (1)浸水戸数 2,081戸 (2)浸水農地面積 10.65 ha (3)農業用施設被害：用水路 1,033 m 農道 348 m (4)一般道路 2,800 m (5)公共建築物 23棟 (6)被災者 501人 (7)想定被害額 5,713,913千円 ③府民ニーズ オアシス構想策定(H3)の際に行ったため池関係のアンケート調査（無作為に抽出した20歳以上の府民1,000人を対象）では、府民はため池のもつイメージとして、「農業用水」との意見が47.1%を占めている。一方、農業用水としての利用度が減ったため池については、「保全しつつ地域ニーズを考慮した利用をすべき」や「現在もっている効用を利用すべき」等の潰廃すべきでないという意見が88.1%を占め、さらにため池の整備の方向としては、「散歩」「生態観察」「魚釣り」「休息」等多様な整備内容を望んでいる。 また、平成9年の府政モニター300人に行った、農空間基本方針策定調査によると、ため池を含む農空間への期待については「農空間の余暇的活用」が56.5%、「農空間の保全・整備」が37.0%、「交流・PR・イベント」が33.3%、「教育・福祉的活用」が21.3%、「食料生産」が17.0%であった。 以上の結果から、ため池については、災害時に水や空間が利用できる地域防災機能や、生態系保全、自然学習、レクリエーションのための空間としての機能に対する府民の関心と要望が高まっていることが伺える。</p>											
	地域等の状況	<p>①地域の現状 本地区は、都市化の進んだ地域にあって、古くから農業用施設としてだけでなく、地域の貴重な水辺空間となっている。これらのため池は、多くの動物や昆虫、植物の生息地であり、ビオトープとしての機能を有している。近年これらのため池は、老朽化が進み、堤体の浸食が著しい状況にあり、一部漏水も起こっており、危険な状態にある。 一方、周辺の都市化が進む中、農業用水の確保だけでなく、良好な水辺環境の整備を行うことにより、地域のアメニティとしての役割も期待されている。 ②地域の協力体制 ため池は、農業用水の確保はもとより豪雨時に洪水被害から下流地域を守る防災機能も有している。しかし、築造以来長い年月を経て老朽化が進んでおり農業団体はもとより周辺住民からの改修要望が増加している。 さらに、地域の住民や地元水利組合等が中心となって、ため池環境コミュニティが形成され、護岸工法や遊歩道、ベンチ、休憩施設、池周辺の植栽等の施設の整備について検討し、これに基づき事業を実施しており、森池に新たに造成された市民農園は、全ての区画が利用されており、その管理は地元金岡町自治連合会が管理主体となり運営されている。 ③地域開発の状況 市街化区域が近接しており、当該地区のため池の受益農地を除いて都市的な土地利用がなされている。</p>											
コスト縮減策	広場等の公共用地や市民農園の造成にため池の浚渫土を利用												
その他特記事項	<p>・事業完了後の清掃、補修、コミュニティ施設の維持管理は、金岡町自治連合会が中心となり地域住民や地元水利組合等が行う。 ・本事業の財源負担の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>国</td> <td>大阪府</td> <td>堺市</td> <td>地元農家</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>12.5%</td> <td>12.5%</td> </tr> </table>					国	大阪府	堺市	地元農家	50%	25%	12.5%	12.5%
国	大阪府	堺市	地元農家										
50%	25%	12.5%	12.5%										

費用 便 益 分 析	具体的な便益内容			受 益 者	費 用 便 益 比	備 考	
		老朽化したため池堤体が決壊した場合に予想される被害を改修によって未然に防止する効果 (1)浸水戸数 2,081 戸 (2)浸水農地面積 10.65 ha (3)農業用施設被害：用水路 1,033 m 農道 348 m (4)一般道路 2,800 m (5)公共建築物 23 棟 (6)被災者 501 人			想定氾濫区域内の住民	投資効率(費用便益比) B/C = 7.07 想定被害額 B 対象事業費 C (防災事業に要する費用)	
事 業 効 果 の 定 性 的 評 価 等	大 項 目	小 項 目 (農空間のもつ多面的機能)	効 果 の 指 標 等	具 体 的 な 効 果 等		受 益 者	備 考
	安全・安心	食料生産	ため池の受益面積	農業用水の確保により生産基盤が保全され農産物が安定供給される効果 (金岡地区の事業対象ため池の受益面積 25.9ha)		農家	
		国土・環境保全		ため池の整備により農業用水が確保され、水田、畑の維持保全につながることで、地下水のかん養や、土砂流出防止といった、国土・環境を保全する効果		府民	
				かんがいのため水田に導水された農業用水が地下に浸透し、さらに河川(狭間川等)に還元され流況安定に寄与する効果			
	防災		貯水量	火災発生時の防火用水や、震災時の生活用水として活用 総貯水量 41.0 万 t (ため池 5ヶ所の合計)		周辺住民	
				降雨時の雨水一時貯留する効果			
				造成された多目的広場を震災時の防災拠点として活用			
	活力	健康・レクリエーション		ため池周辺の散策や市民農園の利用		利用者	
		交流		ため池周辺住民の金岡町自治連合会及び水利関係者等からなるため池環境コミュニティ活動による、地域住民の交流		利用者及び周辺住民	
				市民農園、親水護岸等のアメニティ施設の利用によるふれあい		利用者	
	快適性 (生活環境)	生活		良好な水辺環境整備により、快適な生活・住環境を形成する効果		周辺住民	
		景観		オアシス整備事業により、周辺の地域資源と調和した美しい水辺景観を創造		府民	
	環境 (自然環境)	生きもの生息機能		ため池は、淡水魚や野鳥や水生生物等の生息空間(ビオトープ)となっており、ため池が適切に維持管理され、また生き物に配慮した整備を行うことによる、生態系の保全効果		府民	
	その他	文化・伝統		歴史的文化遺産であるため池文化の保存		府民	
		リサイクル	浚渫土の利用による建設コスト縮減額	ため池の浚渫土を利用した市民農園用地、多目的広場等の公共用地の造成		利用者	
教育・福祉			ため池を通じた学校教育の場の提供		府民		
自然環境等への影響と対策	特に、寺池には、大阪府が絶滅が危惧される野生生物として位置づけた「オオミクリ」(藻の一種で種子植物)の生息が確認されており、堤体改修による生育環境への影響が予想されるが、生態系の保全に必要な対策について取り組んでいく。						
その他特記すべき事項							